

足利風 -ashikaga-fu

2014
10月号
Vol. 34



『ざくろ、割れた』

画・蓮沼ヒロ子

足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

* 共感から始まるホスピタリティ *

“優しい小刻みな震えの感情”と、思春期の豊かで繊細な心情を表現したのは、フランスの夭逝した詩人J. R. ユグナンだった。私の好きな詩人・茨木のり子さんの詩にも「・・・すべてのいい仕事の核には 震える弱いアンテナが隠されている きっと・・・」という美しい言葉がある。時代の風を先取りする、心優しく、そしてタフな感受性が、ボランティアやNPOに関わる者には必然的に求められる。

私が学生時代に最初にボランティアとしてかかわったのは山谷。そこに「きぼうのいえ」という、豊かな看取りをするホスピスがある。家族もなく、不器用に生きてきた人たちの最後を看取る。マザー・テレサのインド・コルカタの「死を待つ人の家」の日本版をめざしての開設だったが、いまは、「きぼうのいえは、生きる場所なんです。死を待つ場所ではありません」と言い切るほどに、自分らしく最後を生きる場となっている。

ここには、共感から始まる真のホスピタリティ(おもてなしの心)がある。そして、人と人・人と自然・体と心のつながりの中で守られている“いのち”がある。

私の暮らす足利学校のある足利の原点はホスピタリティである。足利という地域のDNA(遺伝子)は、品格のあるホスピタリティである。ここにこそ、希望もある。足利の協働のまちづくりのめざすところは、コンパクトシティである。持続可能な、わがまち意識の持てる地域のまとまりが生活圏となる。地域の自然・歴史・文化・景観を大切に、環境と共生し、コミュニティを大切にする協働のまちづくりを進め、地域に密着した経済を育むまちづくりである。“ソーシャル・ビジネス”が躍動するまちづくりである。「むさぼるな、へつらうな」という武井哲応師の言葉が、いま・・・心の杖となる。(M生)



* 「ボランティア・NPO基礎講座」報告 *

7月19日(土)午後、足利市民活動センター3Fみんなの広場で、「ボランティア・NPO基礎講座」①が開かれました。案内人は、石川博右さんで、テーマは「クイズで巡る足利物語！」。参加者50名で盛況でした。②は「足利を民話の語りで知ろう！」で、小池 久仁子さん(おりひめ民話の会代表)。③は「足利を映像を通して知ろう！」で、石川 勝さん(足利山岳映画会代表)。全体のコンセプトは、「ライフスタイルの多様化により、ボランティア活動やNPO活動などの社会貢献活動への関心が高まって来ました。



自分自身の生活を大切に思う心は、社会変化にともなって、自分たちを取り巻く、身近な地域や環境などとの共生の心へとつながって行きます。公共というものも、まず、自分のできることは自分でやることから始まって、市民みんなのものなのだ、という考え方になってきています。今回は、足利の魅力にさまざまな視点から光を当ててみます。」・・・と、ということです。

* 直人くんと出会って・・・*

～2014年 春「直人のスケッチ」支援者 川本孝一～

アラカン(60歳)を乗り越え、今夏は前期高齢者となる我が身であります。能登半島の寒村で生まれた私は、多くのご縁によってこの地足利に住まわせて頂いております。川島直人くんとの数年間、夢のような時間でありました。日々の暮らしの中で、非凡な資質をもつ直人君を通して多くの知己を得、また多くの可能性を体感させていただいております。



現代社会はビックデータと呼ばれる多くの情報を開示し、あたかもどの情報もが新鮮で重要なニュースに聞こえます。しかしながら・・・震災を契機に私たちは多くの情報を知ることの必要性和結果に疑問を持つようになりました。それは・・・映像や情報で何を知ろうとも、己の無力の虚しさのみを覚えるからです。

そんなやるせない気持ちの中で、直人くんのフィルターを通して描く「僕の街 足利」や「自然の草花」は、美しく懐かしい心象を私達に素直に伝えてくれます。そしてその「描く作業」は、多くの方々から「ありがとう直人くん」と言葉をいただけるようになりました。

恒例となりました市民活動センターでの秋の展示会や市役所ロビーでの展示を通しての「直人のスケッチ」は静かに、私たちの記憶の一部となりつつあります。改めてご支援をいただきました多くの方々に御礼を申し上げ、今後の直人くんの活動を暖かく見守って頂きたいと願う次第でございます。

* 「足利傾聴ボランティアの会」*

代表 猪瀬和子(臨床心理カウンセラー)

傾聴ボランティアとは・・・相手の心に寄り添いながら、お話を聞かせていただくボランティアです。

現在、高齢者施設や病院で、登録会員と共に活動しております。

先日、ある施設の利用者様の傾聴をさせていただいた時のこと・・・80代のご婦人が大変辛そうな表情で「私は、死んでしまいたいのです」という会話から始められたので、私は「死にたいほど、お辛いのですネー」と、辛い気持ちに寄り添った言葉をかけてみました。・・・すると、その方は、ゆっくりと心を開いてくださり、少女時代の思い出話をしてくださいました・・・「体の弱かった私は、13歳の時、入院先の医師から“あと1年ぐらしか持たないでしょう”と、告げられたそうです。その時、父親が“それでは退院させて下さい。日本一の医師を捜して、この子の命は守ります”と言って、まだ交通も不便だった時代、東京中を駆け巡り、とうとう入院先を決めてきた」そうです。「私は父に命を救われたのです。今は亡き父のためにも、死んでしまいたいなんて、命を粗末にははいけませんよネ」と、自分の命の大切さに“気づき”、ニッコリとほほえんで下さいました。・・・傾聴の喜びを味わえた瞬間でした。皆様も、一緒に傾聴ボランティア活動に参加してみませんか。

① インフォメーション ①

☆ 陸前高田ドキュメンタリー『あの街に桜が咲けば』

2011年3月11日。東日本大震災によって、多くの街が津波に飲みこまれた。

あれから3年が経った。岩手県陸前高田市では地元出身者が中心となり津波最高到達点に桜の植樹が行われている。

彼らが桜に、そして未来に託す想いとは。。。

日 時：2014年 10月 19日(日) 会場:午後 1時半 上映:午後 2時～
会 場：足利市助戸公民館ホール
参 加 費：無料(但し、事前に会場整理券を配布します。)

※ 詳しくはチラシをご参照ください。

* センターからのご案内 *

☆ みんなの広場 ～ 10月・11月のご案内 ～

- * 世界の山岳写真展～早川和子の宇宙～ (9月29日～10月9日)
- * 句と書で石と遊ぶ展～日下部悲天の世界～(10月14日～23日)
- * 川島直人水彩画作品展(10月27日～11月6日)
- * 絵手紙の会作品展(11月10日～20日)
- * 木彫の地蔵・仏像展 (11月25日～12月4日)

☆ 相談室 & 講座のご案内

- * 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照
- * 講 座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

編集後記

木地師の方に、山桜の木で、お地蔵さまをつくっていただきました。以前から、山桜の木で・・・と、いう想いがあったので、とても嬉しかったです。遠い昔、飛騨高山の里で円空が、木ッ端や立木で円空仏をつくった想いが、ちょっとだけわかった気がしています。
(カサブランカ)

“ 講座・相談室のご案内 ”

【相談室】

日付	相談テーマ	相談員
10/8(水)	ラジオ体操で健康に	岩木 照予さん (NHKラジオ体操1級指導士)
10/22(水)	俳諧ロマン紀行	日下部 悲天さん (俳人・大泉町在住)
11/12(水)	パソコン初心者の“困った”を 優しく解決します～その1	宮師 保さん (ぱそぼらネット代表)
11/26(水)	ボランティアのための 社会保険	渡辺 徹さん (社会保険労務士)

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター（旧保健所）

【講座】

日付	講座名
10/11(土)	NPOの設立・登記について
11/8(土)	認定NPO・寄付税制について
12/13(土)	NPO会計・報告書について

講師 内閣府職員

時間 午後1時30分～午後3時

会場 足利市民活動センター（旧保健所）

問合せ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 (☎0284-44-7311)

“ 企 画 展 の ご 案 内 ”

期間	企画展名	出展者
9/29 (月) ～10/9 (木)	世界の山々を 駱駝に乗って・・・写真展 ～早川和子の世界～	早川 和子さん
10/14 (火) ～10/23 (木)	句と書で石と遊ぶ展 ～日下部悲天の世界～	日下部 悲天さん
10/27 (月) ～11/6 (木)	川島直人水彩画作品展	川島 直人さん
11/10 (月) ～11/20 (木)	絵手紙の会作品展	あしかが絵手紙の会
11/25 (月) ～12/4 (木)	木彫の地蔵・仏像展	山口 千二さん

展示会場 足利市民活動センター（旧保健所） 3階 みんなの広場
（足利市大橋町1丁目2006-3 ☎0284-44-7311）

展示時間 午前10時～午後7時

休館日 土・日・祝